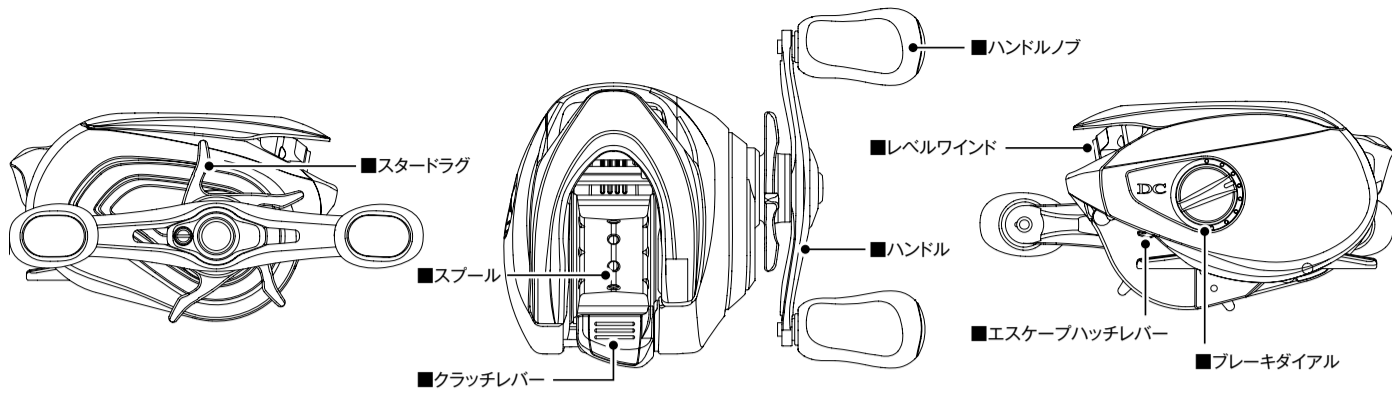


**各部の名称** ※イラストは実際の製品と異なる場合がございます。



**仕様一覧**

品番	ギア比	最大ドラグ力 (kg)	自重 (g)	糸巻量	最大巻上長 (cm/ハンドル1回転)	スプール寸法 (径mm/幅mm)	ベアリング数 (S A-RB/ローラー)	ハンドル長 (mm)
右	7.8	4.5	225	PE(号-m) 1-300、1.5-200、2-150 フロロ(lb-m) 12-100、14-85、16-75	91	37/19	10/1	45
左	7.8	4.5	225	PE(号-m) 1-300、1.5-200、2-150 フロロ(lb-m) 12-100、14-85、16-75	91	37/19	10/1	45

●標準付属品 取扱説明書・分解図・オイル・専用リール袋・脚裏保護シート・注意書き

※製品改良のため仕様及びデザインの一部を予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

**DC プレーキの設定について** ※ライトハンドルのイラストで説明しています。

**■外部ブレーキダイヤル**

MIN~MAXまで8段階にブレーキ力が調整できます。使用するルアー種類によってブレーキの調整を行います。軽く、飛び難いルアーほどブレーキを強く、重く飛びやすいルアーほどブレーキを軽く設定するのが基本です。

※初めてご使用の際はMAXにセットして、様子を見ながら徐々にブレーキ力を下げていくことをお勧めします。

※メカニカルブレーキの調整は不要です。(初期状態でベストな設定になっております。)

**■内部ブレーキモードダイヤル**

使用するライン、使用状況に合わせてモードを設定します。

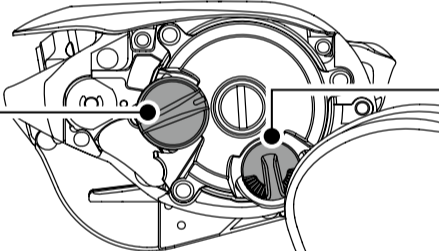
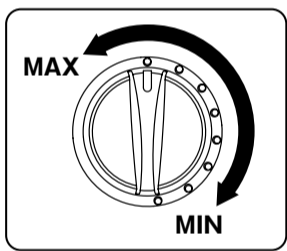
**XP**(PE追風遠投モード)：PEライン使用時の遠投モード。  
(強い横風、向かい風時、ベイトリール初心者の方にはライントラブルのリスクがあります。)

**P**(PEモード)：PEライン使用時に設定する標準的なモード。

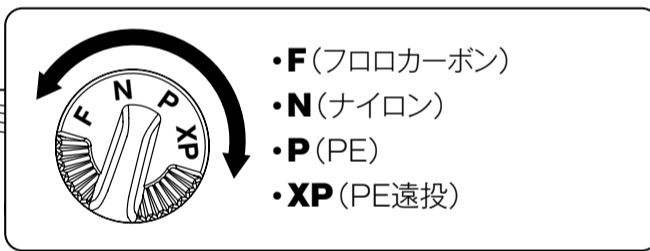
**N**(ナイロンモード)：ナイロンライン使用時に設定する標準的なモード。

**F**(フロロモード)：フロロライン使用時に設定する標準的なモード。

**■外部ブレーキダイヤル**



**■内部ブレーキモードダイヤル**



**サービスのご案内**

本リールは精密部品で構成されていますので、下記注意事項を守ってお取り扱いください。

●ご使用上の注意

砂・泥・泥水はリールの天敵です。ご使用中、リールを砂地に直接置いたり、海水につけたりしないようご注意ください。リール内部に砂や泥水が入ると、思わぬトラブルの原因となることがあります。根掛かりした時には、竿やリールで無理にあおらないで、手にタオル等の布切れを巻いて、できるだけ釣場に糸が残らないように引き寄せて切ってください。リールはていねいに扱ってください。移動時、特に放り投げや、バック内で他の道具との接触による破損には十分ご注意ください。

●お手入れの方法

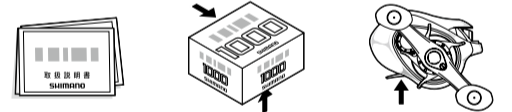
各部分に付着したゴミ、砂などは、真水に浸した柔らかい布でキレイに拭き取って十分乾燥させてください。また、水に浸して洗ったりしないでください。特に、シンナー、ベンジンなど揮発性溶剤は絶対に使用しないでください。ドラグ部分には、絶対にオイルを付けないでください。オイルが入ると、ドラグ力が低下することがあります。高温、高湿の状態では長時間放置されますと、変形や強度劣化の恐れがあります。長期保存される場合は、上記のお手入れを実施後、風通しの良い場所で保存するようにしてください。ご自分で分解・修理をされる場合は、部品のエッジ等で手を切らないようご注意ください。

- 弊社純正品以外の取り付けによる不具合は保障いたしかねます。
- 不具合が生じた場合はそのままの状態でお買い上げの販売店へお持ちになり、詳しい症状をお伝えいただき、修理をご依頼くださいますようお願いいたします。
- 修理に出される際には、お買い上げの販売店へ現品をお預け願います。その際には必ず、修理箇所、不具合内容を具体的に(例/ストッパが働かない)お知らせください。また、お近くにシマノ商品取扱店がない場合は、最寄りの営業所へお問い合わせください。修理品は部品代のほか工賃をいただきますのでご了承ください。商品の故障等によって生じる他のタックルの破損、紛失、釣行費等は保証できません。
- ご自分で修理をされる場合の部品や替えスプールのお取り寄せは分解図をご覧いただき、製品名・商品コードもしくは製品コード・部品番号・部品名をご指定の上、お買い上げの販売店にご注文ください。内部の部品に関しましては、複雑ですのでリール本体ごと修理に出されることをお勧めします。

例/製品名：ステラ 1000S 商品コード：02425

製品コード：SD83B012 部品名：スプール 部品番号：2

- 弊社ではリール、釣竿の補修用性能部品の保有期間を、製造中止後6年間としています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。修理対応期間を過ぎた場合は修理をお断りすることがございます。性能部品以外は製造中止後6年以内でも供給できない可能性がございます。
- 商品コード/製品コードの位置  
取扱説明書・分解図・パッケージ底面もしくは側面に製品コードの上5ケタ及び商品コードを表示しています。又、製品には商品コードを表示しています。



**安全上・ご使用上のご注意**

ご使用前に必ずお読みください。

⚠ 注意	
⚠	●糸をリードするレベルワインドの所に指を近づけて、釣りをしないでください。指をはさまれてけがをすることがあります。
⚠	●ハンドルとボディの間に手をはさむと、けがをすることがあります。
⚠	●糸が勢よく出ている時は、糸にふれないでください。糸で指を切るおそれがあります。
⚠	●メッキや塗装等の表面処理が剥がれたり、強い衝撃等により素材の表面が鋭利になった場合には、その部分に触れないでください。けがをすることがあります。
⚠	●リールを砂地に直接置いたり、海水につけたりしないようご注意ください。リール内部に砂や泥水が入ると、思わぬトラブルの原因となります。
⚠	●根掛かりした時は、竿やリールで無理にあおらないで、手にタオル等の布切れを巻いて、できるだけ釣場に糸が残らないように引き寄せて切ってください。
⚠	●リールはていねいに扱ってください。移動時、特に放り投げや、バック内で他の道具との接触による破損には十分ご注意ください。
⚠	●キャストの時にはクラッチを切るのを忘れないでください。仕掛けが出て行かず、けがをすることがあります。
⚠	●リールを釣り以外の目的で使用しないでください。
⚠	●リールの回転部にはグリスや油が付いていますので、服を汚さないように注意してください。
⚠	●幼児の手の届くところには置かないでください。予期せぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
⚠	●回転しているスプールには触れないでください。けがをすることがあります。

# EXSENCE DC

## 取扱説明書

### SHIMANO

この度はシマノ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本製品の機能を十分に引き出し、末永くご愛用いただくためにも、使用前にこの取扱説明書をお読みいただき、リール同様大切に保存して下さるようお願い申し上げます。

**株式会社シマノ全国サービスネット**

- 株式会社シマノ 埼玉営業所  
〒362-0043 埼玉県上尾市西宮下3-194-1 TEL.(048)772-6662
- 株式会社シマノ 東京営業所  
〒143-0013 東京都大田区大森南1-17-17 TEL.(03)3744-5656
- 株式会社シマノ 名古屋営業所  
〒454-0012 愛知県名古屋市中川区尾頭橋2-6-21 TEL.(052)331-8666
- 株式会社シマノ 大阪営業所  
〒590-8577 大阪府堺市堺区老松町3丁77番地 TEL.(072)223-3920
- 株式会社シマノ 中四国営業所  
〒700-0941 岡山県岡山市南区青江6-6-18 TEL.(086)264-6100
- 株式会社シマノ 九州営業所  
〒841-0048 佐賀県鳥栖市藤木町4-6 TEL.(0942)83-1515

株式会社シマノ 釣具事業部  
本 社：〒590-8577 大阪府堺市堺区老松町3丁77番地

●商品の性能・スペック、カタログ、イベントやアフターサービスなどに関するお問い合わせ  
フリーダイヤル ☎0120-861130(ハローイイサオ)をご利用ください。  
受付時間：AM9:00~12:00・PM1:00~5:00(土・日・祝日除く)

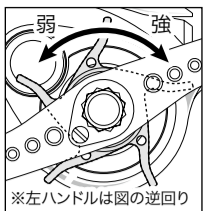
■シマノホームページ アドレスは <http://www.shimano.com> です。新製品情報、釣り情報など、フィッシングライフに役立つ、シマノならではのオリジナル情報を発信しています。また、カタログのお申し込みも受け付けています。

## 使用方法・リールの準備

※説明書中のイラストは実際の製品と異なる場合がございます。

### ■スタードラッグ

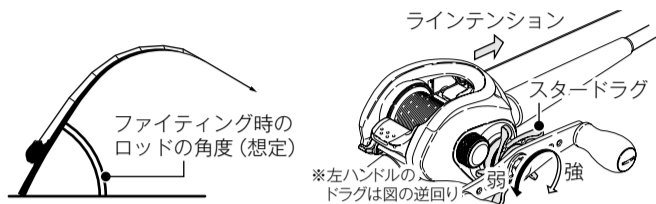
ハンドル側から見て、時計回りに（レフトハンドルは反時計回りに）回すことでドラッグが締まります。



### ■ドラッグの調整方法

ドラッグとは、その強弱を調整することにより、急激な魚の引きに対し、スプールが逆転して糸切れ（ラインブレイク）を防ぐ機構です。又、その逆転時に発生する抵抗値をドラッグ力と言います。

1. 実際に使用される竿にリールをセットし糸をガイドに通してください。
2. クラッチを“ON”の状態にして、想定されるファイティング時のロッドの角度を保って、図のように糸を引き出しながらスタードラッグの締め付けを調節してください。その際、出来るだけ実際の状況に近づける為、対象とする魚の泳ぐスピードを想定して糸を引き出してください。

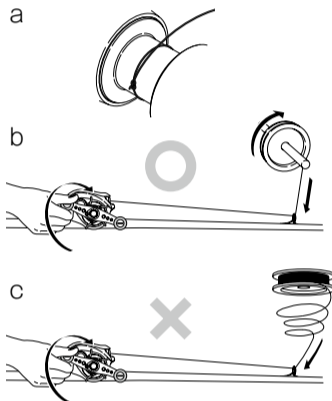


### ■スプールに糸を巻かれる時の注意点

PEラインを巻かれる際には、必ず滑り止めになる様な物をスプールに巻いてからご使用ください。そのまま巻かれますと、スプールに巻いた糸が空転し、糸が巻き取れなくなる可能性があります。

### ■糸の巻き方

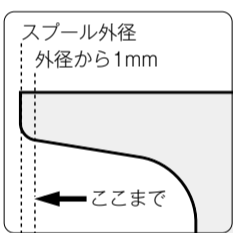
1. ドラッグを強く締め込みます。
2. リールを竿にセットします。
3. 元ガイドから糸を通してスプールに結びます。(図 a)
4. 糸が巻かれているポビンに、割り箸や鉛筆等の軸になるものを通します。
5. そのポビンと軸を誰かに持ってもらい、適度なテンションをかけて、ポビンを回転させながら糸を巻き取るようにして下さい。(図 b) 図 c のようにならないようご注意ください。



尚、PEラインを巻かれる時は、事前にPEラインを十分に湿らせてください。巻き上げ時に発生する熱（抵抗熱）によってPEラインが劣化するのを防ぐためです。

#### ●推奨糸巻量

糸巻量はスプール外径から1mmの位置まで巻くことをおすすめします。



### ■キャスト方法

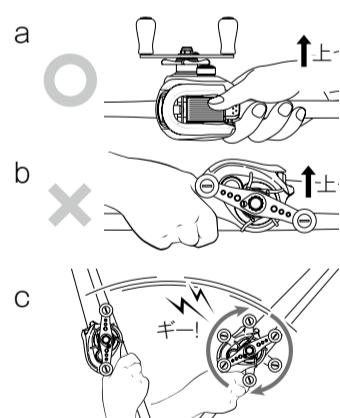
#### ●正しい握り方

ハンドルを上向き（もしくは下向き）にして握ります。(図 a)

下記の握り方でキャストされますと、クラッチ返りが起こりやすくなりますのでお避けください。

ハンドルを横向きにしてしまうと… (図 b)

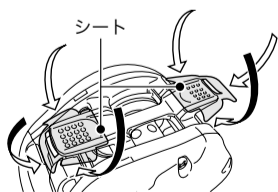
キャストの衝撃でハンドルが回転しクラッチが返ってしまいます。(図 c)



※キャスト時のクラッチ返りは、車でいえばクラッチを切らずにギアをつなぐ様なもの。最悪ギアの破損の恐れもあります。絶対にお避けください。  
 ※キャスト中にハンドルでクラッチを返さないでください。ギアの破損につながる恐れがあります。ルアーが着水してからクラッチを返してください。  
 ※標準装備のハンドルより長いハンドルや、重い（大きい）ハンドルノブを取り付けると、キャスト時のクラッチ返りが起こりやすくなりますのでご注意ください。

### ■リール脚保護シートの使用方法

このリールを装着する竿のリールシートが金属製の場合、付属のリール脚保護シートを装着していただくことをおすすめします。リールシートとの干渉による特殊表面処理層の損傷を和らげ、耐蝕性を維持する効果があります。



### ■より快適にデジタルコントロールブレーキを使用して頂く為の注意点

#### ●糸巻き量、スプール回転数

ブレーキセッティングはフルライン（スプールの95%糸巻き量）の状態を前提に作られています。これより糸巻き量が少ない場合は、スプールの回転数が上がりやすくなるため、ブレーキが強効きすぎる場合があります。糸巻き時には、スプールのテーパ面エッジ（左記 ●推奨糸巻量 図参照）に合わせた糸巻き量でご使用ください。

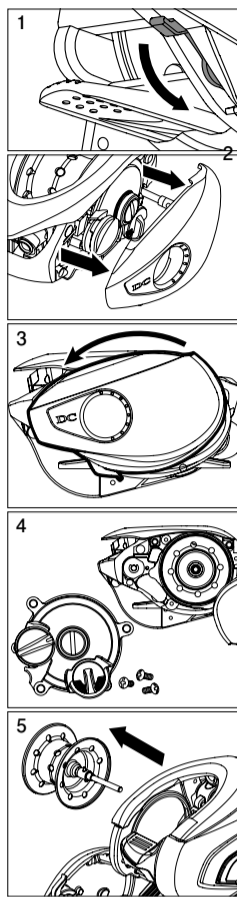
### ■スプール着脱方法

レバーを矢印のOPEN方向に切替え、サイドプレートを下側へ回転することで開くことができます。釣りに使用される時や持ち運びの時は、レバーをOPENと反対方向に切替え、サイドプレートが回転しない状態で使用してください。※ライトハンドルのイラストで説明しています。

#### ●サイドプレートの開け方

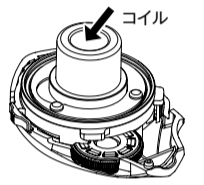
1. レバーを矢印の方向にスライドしてください。
2. 本体Bを引き出してください。
3. 本体Bを矢印の方向に回転してください。
4. デジタルコントロールブレーキユニット（本体B受）を外します。
5. スプールを抜き取ります。

※本体B受けを外した状態で開口部を下に向けますと、スプールが脱落し、変形する恐れがありますのでご注意ください。



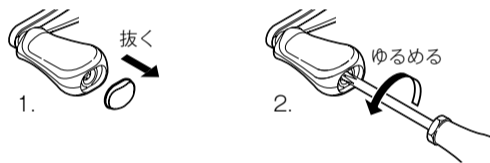
#### 分解時のご注意

- ・電子部品は、全てDCブレーキユニット（本体B受）の内部に取り付けられています。
- ・本体B受に装着されているコイル（右図）に力を加えないようご注意ください。変形するとトラブルの原因になります。



### ■ハンドルノブの取り外し方（パドル型）

1. キャップを取り外します。
2. ノブ内部のネジをゆるめて外します。



### ■夢屋パーツ取り付け可能

#### 《夢屋タイプ》

ハンドル	ハンドルノブ
BH-1	A

※詳細はシマノホームページにてご確認ください。

## お手入れ方法

特に海水・汽水域でリールをご使用された後は、錆や塩分の固着によるトラブルを防止するためにも、以下の要領で釣行後にメンテナンスを行うことをおすすめします。

### ① 必ず竿から外してください。

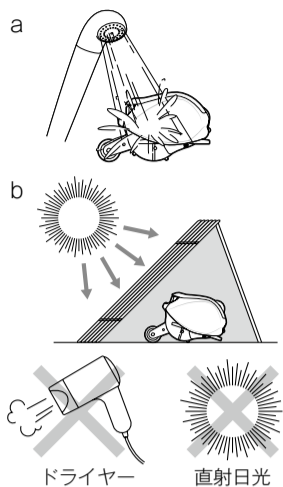
使用後は、必ず竿から取り外して、真水で水洗いしてから保管ください。例え、水洗いされても、竿とセットしたまま放置されますと、リールのフット部とリールシートのフード部に水が溜まり、腐蝕する恐れがあります。

### ② 水洗いしてください。

ドラッグをしめ込んでから、ハンドルやクラッチ等の作動部を動かしながら、シャワー等の真水で、1～2分間水洗いしてください。(図 a)

スプールを取り外し、スプールのみを水洗いしていただくことさらに効果があります。スプールに水分や汚れが残ったままリールに組むと、スプールのフリーが悪くなりますので、必ずふき取ってから組み込んでください。

※温水はグリスを洗い流す可能性があるためお避けください。また、同様の理由でリール本体を水没させないでください。



### ③ 乾燥させてください。

ハンドルやクラッチ等の作動部を動かしてよく水を切った後、ドラッグをゆるめ、直射日光を避けて陰干ししてください。(図 b) ※直射日光、ドライヤー等は内部のムレを引き起こします。※隙間に残った塩分や錆による固着を防ぐため、乾燥中は1日に1度はハンドルやクラッチ等、作動部を動かしてください。

### ④ 注油してください。

グリス、オイルは弊社純正品（下記参照）をお使いください。そうでない場合の品質は保証いたしかねます。ご注意ください。

SP-003H (メンテスプレーセット) ……………	¥1,900
SP-013A (オイルスプレー) ……………	¥1,050
SP-023A (グリススプレー) ……………	¥1,100
SP-015L (ザルスリールオイルスプレー) ……………	¥1,500

※最寄りの販売店にてお問い合わせください。上記は2016年11月現在の品番及び税抜本体価格です。

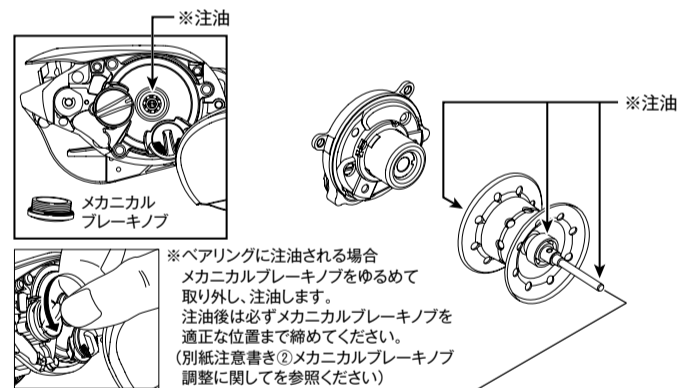
#### 《注油上のご注意》

リールオイル、グリスがハンドルノブに付着したまま長期間放置すると、ハンドルノブが膨潤する場合がありますので、付着した場合はウエスやティッシュペーパー等で必ずふき取ってください。

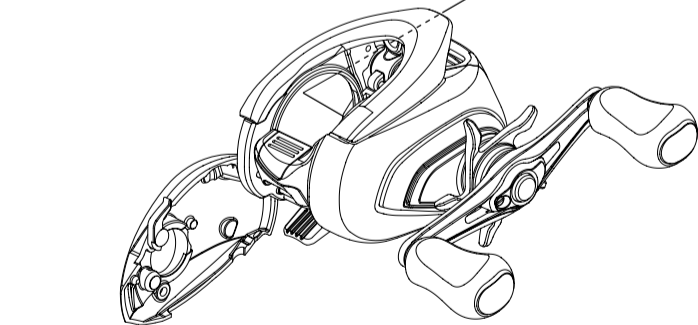
図の注油箇所にはリールに付属の専用オイル、またはシマノリールオイルスプレーをまがええないように噴霧してください。(シマノ以外のオイルは使用しないでください。) オイルはごく少量で充分です。特にベアリング部分は、あふれるようであればティッシュペーパー等で吸い取っておいてください。ドラッグ部にはオイルは注さないでください。

※イラストは実際の製品と異なる場合がございます。

#### ●注油箇所



※ベアリングに注油される場合メカニカルブレーキノブをゆるめて取り外し、注油します。注油後は必ずメカニカルブレーキノブを適正な位置まで締めてください。(別紙注意書き②メカニカルブレーキノブ調整に関してを参照ください)



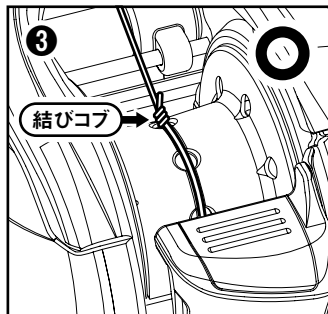
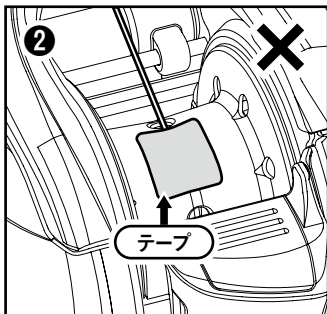
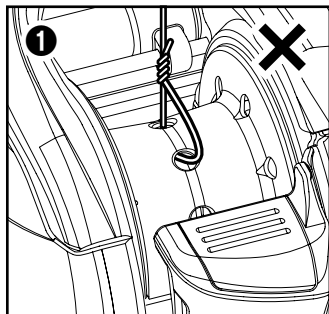
### ⑤ 保管上のご注意

保管の際は必ず竿から取り外してください。また、なるべく乾燥した冷暗所に保管してください。濡れたまま湿度の高い状態で密封された空間（自動車のトランク、ダッシュボード等）に長時間放置されますと腐食を起こす可能性があります。

## エクسسDC使用上のご注意

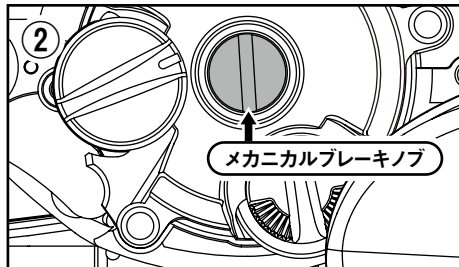
### ① スプールに糸止めするときの注意点 (スプールに糸巻きするとき)

- ① スプールセンターに空いている穴に糸を通さないでください。  
糸と内部部品との接触による回転不具合が発生する恐れがあります。
- ② テープによる糸止めはやめてください。  
キャスト時のノイズ、振動の原因になる恐れがあります。
- ③ スプールセンター溝に合わせて糸を巻きつけて結び、締めこんでください。  
③ 図のように結びコブをスプール穴位置に合わせることで結びコブがスプールに引っかかり糸にテンションがかけられます。



## ②メカニカルブレーキノブ調整に関して

メカニカルブレーキノブはフレームB受に付いています。本体Bをオープンすることで操作できます。スプールの横方向のガタつきは0か僅かに残る程度でスプールがフリーで回転するように調整してください。(ガタが大きい場合は糸巻き形状の悪化、本体Bが締まらない等の機能不具合が生じます。)メカニカルブレーキは締めても問題はありませんが、DCブレーキの機能が十分発揮できなくなります。出荷時はメカニカルブレーキはベストな位置に調整済です。



## ③本体B基板組みの分解に関して

基板固定ボルト3本は絶対に分解しないでください。分解後の機能保証はいたしかねます。

②のメカニカルブレーキノブを外せば、分解することなく、ベアリングが交換できます。

